

工学部だより

2019.3

No.24



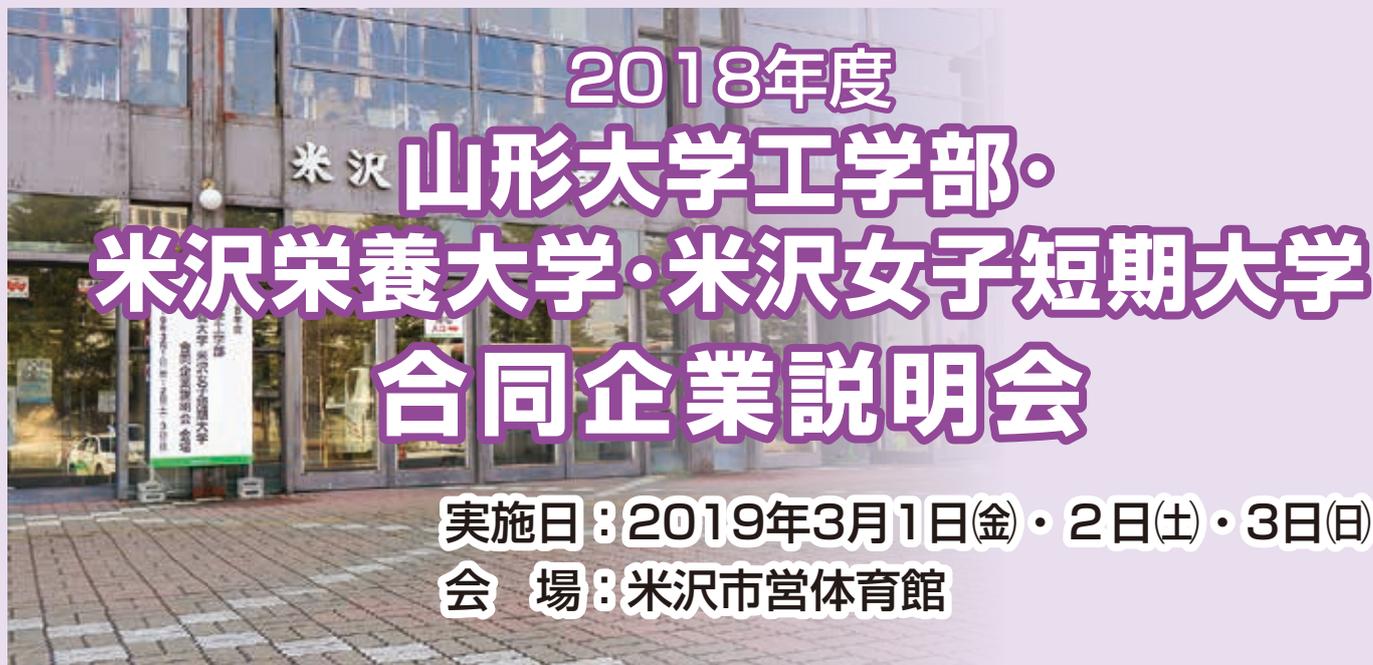
山形大学が米沢市などと共同提案し、「有機材料システム事業創出センター」が米沢オフィスアルカディアに完成し、平成30年6月1日に開所記念式典を行いました。当センターは1階建、約1200平方メートル。センサーシステムなど医療健康分野の設備、3Dプリンタなど機械金属ものづくり分野の設備、常温特殊乾燥機など食品・6次産業化分野の設備を連携企業と共同で利用します。

目

2018年度 山形大学工学部・米沢栄養大学・米沢女子短期大学合同企業説明会	2
今を大切に	6
学務委員会だより	7
教務委員会だより	7
学生相談室だより	7
山形の未来を切り開け！	
トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム	
地域人材コース	8
国際交流で学んだこと	8
学科(専攻)だより	9
平成30年度卒業・修了予定者の就職内定・進学予定先一覧	14

次

平成29年度卒業・修了者の就職状況	15
キャリアサポートセンターだより	16
就職活動と後輩へのアドバイス	16
山形大学工学部後援会会則	17
平成29年度一般会計収支決算書及び平成30年度一般会計収支予算書	17
山形大学工学部保護者懇談会	
今年度(平成30年度)実施報告と来年度(平成31年度)開催予定	18
お知らせ	18
平成31年度工学部年間予定表・後援会通信	18



開会のご挨拶 山形大学工学部工学部長 飯塚 博

本日から、いよいよ就職活動が始まります。
 この会場には、3日間に亘って山形大学工学部・米沢女子短期大学のOB・OGが就職している企業様を始め、多数の企業様にお集まりいただきました。
 就職活動を始める学生さんに対して、良くアピールしていただき、是非とも良い人材を獲得していただきたいと思ひます。

今後、学生さんたちがOB・OG訪問をする機会もあるかと思ひますが、良きアドバイスをしていただき、円滑な就職活動をしておけますよう、ご協力をお願いします。
 また、本校のOB会である米沢工業会様とも連携を図り、就職支援を行っております。企業様からも、ご意見などがあれば是非ともお聞かせください。



米沢栄養大学健康栄養学科
加藤 守 匡

本校は昨年度は初めて卒業生が送り出すことができました。
 今年は2回目の参加となりますが、食品や健康に関わる分野の企業様を始め、学生さんには様々な企業様に接してください。
 本日から3日間、参加しております企業様も温かい目で就職活動を始めた学生さんを見守って頂きたいと思ひます。



米沢女子短期大学社会情報学科
小池 隆 太

本日は、様々な分野において実績のある名だたる企業様に参加していただいております。
 一つの企業の中でも様々な職種の部署があり、希望の就職先でも今まで学んだ専門分野が必ずしも、活かせることがないかも知れません。
 コミュニケーション力が生かせる職場かどうか重要となる為、参加企業様には職場の雰囲気も伝わるように学生さんにも接していただきたいと思ひます。



学園都市推進協議会
種村 信 次

現在約80,000人の人口の米沢市には、3つの大学があります。
 米沢市は夏は暑く、冬は寒く雪が多い環境ではありますが、市民は学生さんを温かく見守り応援してこられました。
 学生さんには、どんな企業に就職するかも重要ではありますが、どんな生き方をするかを考えた上で、就職活動をしていってほしいと思ひます。

山形大学工学部・米沢栄養大学・米沢女子短期大学 合同企業説明会概要

1. 期 日 3月1日(金) 参加社数：165社
3月2日(土) 参加社数：164社
3月3日(日) 参加社数：165社

2. 場 所 米沢市営体育館(米沢市金池3-1-62)

3. タイムスケジュール

- 9:00- 学生受付
10:00-10:05 開会式
企業説明会・午前の部
10:05 <学生一斉入場>
10:15-10:50 1回目説明
10:55-11:30 2回目説明
11:35-12:10 3回目説明
12:10 <学生一斉退場>
12:10-12:55 昼食・休憩
企業説明会・午後の部
12:55 <学生一斉入場>
13:05-13:40 4回目説明
13:45-14:20 5回目説明
14:25-15:00 6回目説明
15:00-15:30 7回目説明
(終了後学生退場)
15:30-15:35 閉会式



4. 対 象

- ・2020年3月卒業予定の山形大学工学部3年次学生、米沢栄養大学3年次学生、米沢女子短期大学1年次学生
- ・2020年3月修了予定の山形大学大学院理工学研究科博士前期課程1年次学生、有機材料システム研究科博士前期課程1年次学生
- ・その他 希望する山形大学、米沢栄養大学、米沢女子短期大学の学生

5. 持ち物

- ・ネームプレート(つり下げ名札)…不携帯の場合は入場できません
- ・企業訪問カード(記入してくること)…各ブースを訪問した際に提出します
- ・筆記用具など

6. その他

- ・当日はリクルートスーツで参加してください
- ・学生の会場周辺での喫煙は固く禁じます



合同企業説明会 過去3年の実績

	28年度				29年度				30年度			
	3月1日	3月2日	3月3日	計	3月1日	3月2日	3月3日	計	3月1日	3月2日	3月3日	計
出展企業数	137	136	138	411	149	129	148	426	163	163	164	490
参加学生数	622	636	579	1,837	650	621	599	1,870	651	606	574	1,831

本説明会は、平成27年度まで2日間開催(平均320社)にしておりましたが、近年、工学部生への求人が増加していることにより、平成28年度から3日間開催へ変更し、参加企業数を増やしております。

平成30年度工学部における学生への就職支援事業一覧

番号	月日	時間	内容	講師	会場	対象	参加数
1	4月26日(木)	16:15~17:45	進路・就職・インターンシップガイダンス	松坂 暢浩	4号館 大示範教室	学部2、3年・修士1年 他希望者	368
2	6月4日(月) 6月14日(木)	16:15~17:45	インターンシップオリエンテーション・マナー講座	黒田 三佳	4号館 大示範教室	学部2、3年 修士1年(インターンシップ参加予定学生必修)	162、239 計401
3	6月11日(月)	12:45~17:35 (3コマ開催)	基礎から分かる自己PR作成講座	マイナビ	4号館 114教室	学部3年・修士1年 他希望者	124
4	6月28日(木)	16:15~17:45	インターンシップ徹底解説講座	マイナビ	4号館 111教室	学部3年 修士1年 他希望者	51
5	7月3日(火)	12:45~17:35 (3コマ開催)	職務適性テスト受験会	ディスコ	4号館 セミナー室	学部3年 修士1年	22、18、20 計60
6	7月4日(水)	12:45~17:35 (3コマ開催)	一般常識テスト受験会	ディスコ	4号館 セミナー室	学部3年 修士1年	11、13、29 計52名
7	7月10日(火)	13:30~16:25	インターンシップ受入企業セミナー	リクルートキャリア	11号館 ラウンジ	学部2、3年 修士1年 他希望者	70
8	10月16日(火)	16:15~17:15	就活キックオフガイダンス	松坂 暢浩	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	314
9	10月30日(火)	16:15~17:45	就活ガイダンス①(就活全般自己分析)	原田 幸雄(㈱キャリアクリエイティブ)	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	272
10	11月6日(火)	12:45~17:35 (3コマ開催)	筆記試験・適性検査対策WEBテスト受験会	リクルートキャリア	情報基盤センター第1実習室	学部3年・修士1年 他希望者	35、18、35 計88名
11	11月13日(火)	12:45~17:35 (3コマ開催)	エントリーシート対策講座	ディスコ	4号館 212教室	学部3年・修士1年 他希望者	53、36、71 計160名
12	11月22日(木)	16:15~18:00	若手OB・OG座談会(キャリアカフェII)①	マイナビ	4号館 ゼミ室1、2	全学年	10
13	11月27日(火)	16:15~17:45	就活ガイダンス②(業界・企業・仕事研究)	池谷 昌之(㈱アフターリクルーティング)	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	223
14	12月4日(火)	16:15~17:45	履歴書作成マスター講座1/全4回(自己PR)	高橋 由紀子	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	190
15	12月11日(火)	16:15~17:45	秋田ふるさとセミナー	秋田ふるさと定住機構	4号館 214教室	学部3年・修士1年 他希望者	約10
16	12月13日(木)	16:15~18:30	若手OB・OG座談会(キャリアカフェII)②	マイナビ	4号館 セミナー室・ゼミ室	全学年	19
17	12月19日(水)	16:15~17:45	第1回就活に役立つマナー講座	黒田 三佳	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	138
18	12月12日(水)	16:15~17:45	履歴書作成マスター講座2/全4回(学生時代に力をいれたこと)	高橋 由紀子	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	192
19	12月17日(月)	16:15~17:45	業界・企業研究リアル講座(製造業)	リクルートキャリア	中示範A教室	学部3年・修士1年 他希望者	52
20	12月18日(火)	16:15~17:45	業界・企業研究リアル講座(食品・化学)	リクルートキャリア	中示範A教室	学部3年・修士1年 他希望者	68
21	1月15日(火)	12:45~17:35 (3コマ開催)	自己PRブラッシュアップ講座	マイナビ	4号館 212教室	学部3年・修士1年 他希望者	21、20、48 計89
22	1月22日(火)	13:00~15:30	みやぎPRセミナー	宮城県経済商工観光部	ゼミ室1・2	学部3年・修士1年 他希望者	約30
23	1月17日(木)	16:15~17:45	履歴書作成マスター講座3/全4回(志望動機)	高橋 由紀子	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	241
24	1月21日(月)	16:15~17:45	業界・企業研究リアル講座(情報)	リクルートキャリア	中示範A教室	学部3年・修士1年 他希望者	45
25	2月18日(月)	17:00~18:50	就活ガイダンス③(面接対策)	松坂 暢浩	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	219
26	2月13日(水)	13:00~16:20	若手OB・OG座談会(キャリアカフェII)③	マイナビ	百周年 セミナー室	全学年	25
27	2月19日(火)	17:00~18:30	面接イメージ確立講座(△ビケーション)	マイナビ	中示範C教室	学部3年・修士1年 他希望者	101
28	2月15日(金) 2月21日(木)	16:15~18:15 13:30~15:30	工学部合同企業説明会事前対策セミナー	高橋 由紀子	大示範教室(中継・中示A)	学部3年・修士1年 他希望者	424、248 計672
29	2月21日(木)	16:15~17:45	第2回就活に役立つマナー講座	黒田 三佳	大示範教室	学部3年・修士1年 他希望者	70
30	2月27日(水)	9:00~17:00	履歴書作成マスター講座4/全4回(添削指導)	高橋 由紀子	5号館301教室	学部3年・修士1年 他希望者	25
31	3月1日(金)・2日(土) 3日(日)	10:00~15:30	山形大学工学部合同企業説明会		米沢市営体育館	学部3年・修士1年	651、606、574 計1831
32	3月12日(火) 13日(水)	11:00~17:00	山形大学合同企業説明会		山形ビッグウィング	学部3年・修士1年	39、31 計70

合同企業説明会へ向けた主な取り組み(平成30年度)

学部3年生、修士1年生、インターンシップに参加予定の学部2年生対象

進路・就職、短期インターンシップガイダンス

★重要なお知らせ！必ず参加しよう！★

◆日時：4月26日(木) 16:15~18:30 (予定)

◆場所：4号館 大示範教室

◆講師：松坂 暢浩 先生

◆当日の内容

①就職か？進学か？進路をどうするかについて解説します
②2020年度・就職活動スケジュールについてご説明します
③インターンシップに参加する意義
④インターンシップの申込みについて(企業研修生について)

◆申込先 5号館2階キャリアサポートセンター
◆申込期間 4月25日(水) 17:00

TEL: 0238-26-3017

インターンシップ・オリエンテーション・マナー講座

<対象>今年度中にインターンシップに参加予定の学生全員
(単位の影響、選入先企業にかかわらず全員必修です。)

日時：6月4日(月) 16:15~19:00
6月14日(木) 16:15~19:00

場所：4号館 大示範教室

講師：黒田 三佳 氏(ローズレーン代表)

内容：
①インターンシップ参加に必要なビジネスマナーについて
②インターンシップ参加に必要な手続きについて
③申込時等に必要な手続きについて

昨年の参加人数：314人(両日合計)

◆申込方法
5号館2階キャリアサポートセンター(面接予約の受付等)に必要事項を記入してください。(各開催日別の用紙が貼付)

TEL: 0238-26-3017

2020.3卒対策 就職ガイダンス

就職活動を始めるときのポイント、工学部特有の問題点を踏まえ、どのように準備を進めるべきが解説します！

就活キックオフガイダンス

日時：10月16日(火) 16:15~17:15

場所：大示範教室

講師：松坂 暢浩 先生

対象：2020.3卒・修了予定学生

昨年の参加人数：314人

◆申込方法
10月15日(月) 17:00までに5号館2階キャリアサポートセンター(面接予約の申込用紙)に学生番号を記入してください

TEL: 0238-26-3017

合同企業説明会を有効活用するための事前対策セミナー

このセミナーで、合同企業説明会に必要な内容を勉強します。必ずどちらか1日に参加しましょう！

日	時間
第1回	2月15日(金) 14:15~18:15
第2回	2月21日(木) 13:30~18:30

◆場所 大示範教室 6号館4教室

◆講師 高橋 由紀子 先生

◆配布物 合同企業説明会の様子、名札、袖

◆申込 不要

受付はセミナー開始1時間前からです。要予約です。お申し込みください。

TEL: 0238-26-3017



今を大切に

工学部長 飯塚 博

工学部後援会の皆様には、学生の課外活動や工学部の諸行事へのご支援、さらには学内教育環境整備への補助も頂いております。感謝申し上げます。

工学部の近況をご紹介します。平成29年度に大幅な学部改組がありました。それを機会に、これまでの知識習得中心の教育カリキュラムから、社会課題や企業が抱える技術課題等を題材にした実践的な問題の解決に取り組む、考える教育へのシフトを進めています。それと同時に、平成33年4月開始を目指し、大学院改組の準備も始めています。その改組では大学院の大括り化を行い、これまでの分野縦割りに近い教育プログラムから、多分野融合の教育プログラムへのシフトを計画しています。すなわち、ひとつの研究科内に人文学系や理工学系の多分野の教育研究を同居させ、文理融合の科目履修や研究指導体制を組めるようにし、社会からの多様化した人材育成の要請に応えられる教育環境の充実を目指しています。

また、学部・大学院での正規の科目履修と並行して、起業家精神を育むアントレプレナー教育や情報社会実現のためのデータ活用人材育成に係わる競争的資金獲得による育成事業も展開しています。これらの育成事業では、ベンチャー企業や情報関連企業の現場で活躍中の経営者・事業開発者等を招聘して最新の技術や社会ニーズを教えて頂いています。先日、担当教員から1年目の成果報告を受けました。この育成事業にエントリーした学生は150名を超え、その中で既にベンチャーを起業した学生が2名、準備中が2名居るということでした。この育成事業には他大学学生や県内企業の社員も参加しており、学生達は色々な背景を持つ参加者と交流しながら、ア

イデアを形にする手法を学んでいました。また、起業した学生への企業経営等の支援体制整備も進めていました。在学生の皆さんには、この育成事業主催のシンポジウムや講演会等で面白そうなものがありましたら気軽に覗いて頂き、参加してみたいと思ったらエントリーして頂きたいと思います。全員がベンチャー企業設立を目指せ、というものではありません。皆さんが持っているアイデアを形にする最新の手法を学びます。

昨秋、工学部同窓会である米沢工業会の理事長が某月刊誌の記事コピーを持って来られました。「本学卒業生で活躍されている女性のインタビュー記事が載っていました。」ということでした。その名前に聞き覚えがあり、写真を見ると見覚えがありました。私の研究室を十数年前に卒業した女性でした。彼女は、他学部から工学部へ転学部し、卒業後自動車関連会社に就職、自分には合わないと早々に進路変更し、ベンチャー企業に転職して活躍。そして今、自分でベンチャー企業を立ち上げて社長になっていました。インタビューでは「自分の気持ちに素直に、真っ直ぐ生きる」を強調していました。自分が活躍できる場を求め続ける一念のようなものを感じました。

私達の持っている能力は多様であり、ひとつの場面での出来事で総合評価することはできません。また、過去・未来に対する過度な想像は、私達の今の行動を委縮させてしまいます。私達には、迷いの路に入り込まずに今の状態に気付き、今を大切に色々なことに挑戦する姿勢が重要です。多様化が進む現代にあって、今後とも時代の変化を取り入れながら、社会で輝く人材を育て続けられるよう、米沢キャンパスの教育環境を整えて参ります。

学務委員会だより

学務委員会委員長 **羽場 修**
(大学院理工学研究科 機能高分子工学分野 教授)



学務委員会は、学部における教育カリキュラムの円滑な実施と、学生の大学生活の支援のための種々の実務を担当しています。工学部では、2017年度の入学生から、昼間コースを旧7学科から改組して4大学科に再編しました。さらに「建築・デザイン学科」を新設し、既存のフレックスコース「システム創成工学科」と合わせて全6学科となりました。2018年度からは「建築・デザイン」以外の2年生が米沢キャンパスに移行し、本格的に米沢での新学科の教育が始まりました。大人数対象の科目が増えてしまったこともあり、教室の割振りに難儀する面もありましたが、これま

でのところ大きな混乱もなく新学科のカリキュラムが進んでいます。新旧の教育課程がもう1年間並行しますが、これまで同様しっかり準備してスムーズに進めていきたいと考えています。

学生生活の面では、2017年度から始まった教員による全学生との面談を、2018年度も実施しました。また2018年度からは副担任制度を全学科で実施しています。さらに、工学部学生相談室や障がい学生支援センターなどとも連携を取りながら、これまで以上にきめ細かい指導・支援を行なっていく予定です。保護者の皆様におかれましても、日頃からお子さんの様子に注意を向けていただき、ご心配な点がありましたら、早めにアドバイザー教員等とご相談くださるようお願いいたします。

教務委員会だより

教務委員会委員長 **野々村 美宗**
(大学院理工学研究科 バイオ化学工学分野 教授)



大学院における講義のカリキュラムの構築から、学位論文の審査、インターンシップのサポート、健康管理まで、学生たちの学業と生活を支えるのが教務委員会の役割です。ひとりひとりが充実した学生生活を送ることができるよう、教員・職員が一丸となって取り組んでおります。

昨今、世界情勢や社会構造がめまぐるしく変わっていく中で、大学院教育も変革が進みつつあります。2018年度から理工学研究科に所属しながら医学研究科・農学研究科やいわゆる文系の研究科から提供さ

れる講義を受講できる大学院共通科目が発足しました。幅広い教養を身につけた研究者・技術者の育成につなげて参ります。また、2019年度からは、高い研究業績を持つ社会人研究者・技術者は最短1年間で博士の学位を取得することのできる大学院早期修了制度が発足する予定です。山形大学からたくさんの博士人材を輩出し、社会人の学び直しにも貢献していきたいところです。

このように教務委員会では新しい取り組みにチャレンジし、充実した大学院の構築に努めて参りますので、保護者・卒業生・後援会のみなさまにおかれましては何なりとご提案など頂くと共に、変らぬご支援を賜れば幸いです。

学生相談室だより

学生相談室長 **黒田 充紀**
(大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授)



人間は、一人一人個性があり、特徴も異なりますので、教育もそれに対応して、柔軟性を持つ必要があります。従来、何かと画一的になりがちであった日本の学校教育も、個々の人間にできるだけ対応できるよう変化していかななくてはなりません。学生相談室は、こうした改革・改善の最前線に位置すると言えます。学生相談室では、学修面の他にも、学生生活面、経済面、健康面、心の内面の問題、将来への不安、学生間の人間関係、教員との人間関係など学生のあらゆる相談に乗り、解決に向けて適切な対応を致します。

学生からの要望事項や困り事をいち早くキャッチし、必要な学修環境・生活環境の保全を迅速に行うためには、相談チャンネルを増やす必要があります。卒業研究や大学院における修士研究については、複数教員による指導（副指導教員あるいはサポート教員制）を導入しています。また、全教員が学生相談窓口となり、迅速かつ適切な対応をとることができるようシステムを整備しています。

保護者の皆様におかれましては、学生の皆さんに、何か困ったことがある場合には、学生相談室、アドバイザー教員、指導教員（副指導教員・サポート教員）、あるいは学生サポートセンター学生支援担当に早めに相談するようお願いいたします。

山形の未来を切り開け！



トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 地域人材コース

工学部国際交流センター副センター長
准教授 仁科 浩美

今回は、山形の未来を切り開くグローバル人材育成プログラムとして昨年からは開始された、「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 地域人材コース」をご紹介します。

本プログラムは、山形大学・鶴岡工業高等専門学校・東北文教大学の学生を対象とするもので、将来、山形県の産業や教育・文化面でグローバル化を推進できる「高度グローバル人材」の育成を目標としています。

プログラムのコースは、食・農業海外展開コース、ものづくり海外展開コース、地域国際化コースの3コースで、それぞれの目的に即した企業や大学等において、県内（2週間）+海外（1～2か月）+県内（2週間）の3回からなるインターンシップを体験します。海外インターンシップについては、県内の賛同企業・団体がスポンサー（下図参照）となり、月額の奨学金や往復の渡航費等を支援しています。座学を超えた多様な経験や、日本とは異なる海外の人々のもの見方・考え方を知ることは、学生を大いに成長させ、柔軟で創造的な思考を培うのに大きく貢献しています。



賛同企業・団体



報告会の様子

2018年度は、3教育機関で14名（うち、山形大学全体で12名、工学部7名）が参加しました。12月には、工学部において6名の学生による報告会が開催され、オーストラリア、ドイツ、ベトナム、中国、台湾での海外インターンシップを含むプログラムの成果が報告されました。業務やテクノロジーに関して学んだこと、言葉や習慣の違いなどに苦労しながらも奮闘した海外での日々が生き生きと語られ、山形の更なる発展に向けての熱い想いが感じられました。

2019年度の工学部の参加応募締切は4月19日(金)です。詳細は、<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/tobitate/> をご覧ください。多くのご応募をお待ちしています。

国際交流で学んだこと

英語というのは、コミュニケーションの道具であって、コミュニケーションの方法ではありません。国際交流や海外インターンシップを通して、私はこのことを強く実感しました。

これまで、国内外で国際交流の場に参加する機会が多くありましたが、実は2泊3日の英語力強化合宿のあるバイリンガルの講演内容が、私の印象に強く残っています。それは「熱意さえあれば英語力は必要ない」というものでした。熱意があっても、伝えられなければ意味がないじゃないか！と私は彼の講演を反芻したわけですが、そこで面白いことに気づきました。例えば、エレベーターピッチ1分間でどうやって簡潔に伝えるか。例えば、プレゼンテーションでどうやって新規事業を売り込むか。これらは英語力ではなく、各種のコミュニケーションスキルに依存しています。いわば日本語の問題なのです。日本語でできなければ英語でもできません。

ここで挙げた例はさらに場面を拡張できます。例えば、私は2ヶ月間ドイツの研究機関でインターンシップを経験しました。そこでは世界各国の研究者が、同じプロジェクトに取り組んでいます。ドイツ人を含め、私の所属し

機能高分子工学科 4年

後藤 秀文

たチームには英語を母国語とする方はいませんでした。それでも、昼食後はコーヒープレイクで談笑し、困った時は話し合って計画を練り直します。そこには、同僚と円滑な関係を作りたい、今後の実験を有用なものにしたという目的が根底にあります。そこでは、英語はただの道具です。

すなわち、英語が話せるだけではコミュニケーションは成立しません。英語とは異なるスキルこそ、あらゆる場面で重要な役割を果たします。そして、それらは往々にして言葉の壁を超えます。笑顔で挨拶すること、互いの背景を尊重すること、例えばそういったものこそ大切にしたい。これまでの国際交流を経て、私はそう思います。



実験の様子

学科(専攻)だより

高分子・有機材料工学科

教育プログラム長 教授 川口 正剛



145名の新入生を迎え入れ、高分子・有機材料工学科の2年目がスタートしました。1、2年生は高分子・有機材料工学科、3、4年生は機能高分子工学科に所属していることになります。学生諸君には基礎学力を着実に身に着け、さらにはサークル活

動や友人との充実した大学生活を送ることによって、社会人基礎力や人間力も身に着けてほしいと願っております。今年の1月に当学科が主体となって第1回国際会議IPOMY (International Conference of Polymeric and Organic Materials in Yamagata University) を開催いたしました。参加者数320名、国内外から40名以上の著名な先生をお招き

し、高分子あるいは有機エレクトロニクス関連の最先端の研究成果について討議を行いました。ここでは、80件以上の学生による立派な英語発表があり、学生にとって貴重な経験と自信につながったものと喜んでおります。今後とも学生にプラスになることは積極的に取り入れて行きたいと思っておりますので、引き続き保護者及び後援会の皆様方の暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



化学・バイオ工学科

教育プログラム長 教授 多賀谷 英幸



2018年4月、設置2年目の化学・バイオ工学科には、応用化学・化学工学とバイオ化学工学の2コースに合わせて151名が入学しました。大学生活にも慣れ、山形市の小白川キャンパスで勉学に勤しんでいます。移行条件を充たした2年生は米沢

キャンパスに移り、課題解決型の実験演習など専門科目にも取り組み、10月からはコース毎の専門科目の受講も始まりました。

化学・バイオ工学科では、本学科に期待する技術者教育について高校や企業へのアンケートを継続的に行っております。最新の結果では、80%以上の高校の先生方が専門科目をあげ、目的意識が明確な科目の充実を望んでいます。一方、企業の方々からは、数学や物理・化学などの基礎科目や、専門基礎科目への要望が高く、基

礎力充実への期待がうかがえます。さらに本学で身につけてもらいたい能力としては、80%前後の高校の先生方が課題解決力やコミュニケーション力を挙げていますが、企業の方々からは特にコミュニケーション能力習得への期待が高く、チームワーク力への要望も高く、高校と企業とで違った視点での本学への期待が感ぜられます。

春からの3年生にはより専門性の高い発展科目や実験が課されますが、10月からは研究室への仮配属が予定されています。

今後とも保護者の皆様方のご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。



新入生オリエンテーション 平成30年4月5日



進路ガイダンス 平成31年1月15日

物質化学工学科



化学・バイオ工学科応用化学・化学工学コースが設置され2年目となりました。新1年生は、学問の基礎となる手法や将来に向けての勉強を、小白川キャンパスで行っています。2年生は、山形から米沢キャンパスへ移動しました。専門の授業

が中心となり、講義や演習、実験を通じて力を蓄えています。本格的な研究の基盤となる技術と知識を身につける新課程の学生実験がはじまりました。物質化学工学科3年生は、10月に仮配属先が決まり、卒業研究に向けた準備を始めました。昨年3月には、米沢工業会のご支援で、初めての試みとして、シンポジウム「将来を考える」を実施し、学科の先輩が歩んだ進路を。学部3年生と修士1年生の就職希望者は、インターンシップやOB・OGセミナー、企業見学会などに参加し、3月から本格的な就職活動

教育プログラム長 教授 神戸 士郎

開始となります。4年生と修士2年生は、1月15日現在、それぞれ4年生97%、100%の就職先が内定しました。卒業論文や修士論文のまとめに精を出しています。私たちは、この先30年を見越し、大学院カリキュラムの再検討を行ってきました。社会の急激な変化にすぐに対応出来るよう、より実践的な教育を行ってまいりますので、今後とも、保護者の皆様のご理解とご支援を御願いたします。



シンポジウム「将来を考える」

情報・エレクトロニクス学科



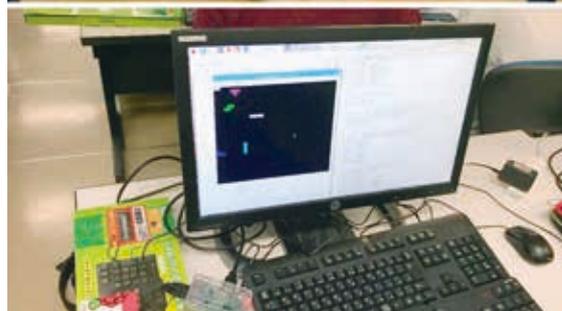
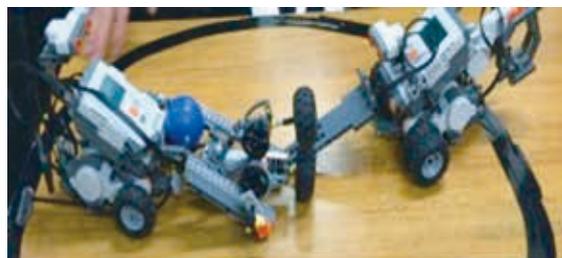
2017年の学科改組により情報・エレクトロニクス学科が新設されてから2年目となりました。本年度から新学科の学生が米沢キャンパスに移り、本格的に専門的な内容の学習を開始しています。当学科ではIoT×人工知能の時代に応え、ソフトウェア・ハードウェア両方の知識を持った広い視野を持ち、情報や電気電子の産業分野に対応できる人材の育成を目標として

ています。本学科は情報・知能コースと電気・電子通信コースの2コース体制で運用されていますが、学科の教育目標を達成するために、各コースに関する専門的内容を習得する「専門領域」の他、両コース共通の内容を学ぶ「融合教育領域」を受講するカリキュラムを整えています。

教育方法として従来の講義形式の授業の他、実践的な力を養う教育も重視しています。この例として本年からPBL演習Iを開講しています。PBLは問題解決型授業とも呼ばれ、受講者の自主性・自律性を重んじることにより実践力をつける教育手法となっています。情報・知能コースではシングルボードコンピュータを使用したシステム開発、電気・電子通信コースでは汎

教育プログラム長 教授 小坂 哲夫

用ロボットを用いた曲線追従走行などの課題解決を実施しています。いずれもハードとソフトの基礎的な知識の他、自ら考える力が必要となります。近年第4次産業革命というキーワードを良く耳にするようになりました。今後はIoTや人工知能による製造業革新が進展していくと予想されます。このような時代の中心で活躍できる人材の育成を図っていきたく考えております。どうぞよろしく願い申し上げます。



電気電子工学科



電気電子工学科では、基礎学力と応用力を備え、電子情報化社会に貢献できる自立した人材育成をめざして教育研究を進めております。すでにホームページ等でご存知かと思いますが、高度化する社会のニーズに応えるために、2017年4月より情報・エレクトロニクス学科がスタートし、この3月現在では、1学年と2学年が情報・エレクトロニクス学科の学生で、3学年と4学年が、電気電子工学科の学生となっています。

これからは、スマートフォンに代表される高度な情報端末機器を個人が所有し、だれとでもいつでも情報交換ができて、様々な電化製品等がインターネット技術や人工知能技術と結びつく、まさにモノとインターネットが結びつく社会になると言われています。これは、ソフト（システム設計やプログラム）とハード（電子機器や電子回路）で主に構成され、これらはまさに両輪です。当学科では、この中でも主にモノに重きを置いており、カリキュラムでは、半導体・金属材料などの基礎的な科目からシステム設計やプログラミングなどと、電気電子の全般がカバーできる学習内容となっております。

教育プログラム長 教授 佐藤 学

一方、社会の求めるニーズは高度化の傾向があります。これに対して本学には大学院があり、2年間の博士前期課程を修了すると工学修士の学位が取得できます。全国的に、理工系では高い割合で大学院に進学しているのが現状です。大学院では、高度な専門知識の習得だけでなく、学会発表やプレゼンの機会も多いことから座学では身につかない実践的スキルが習得できます。また、将来については先輩や自分で考える時間もあり、将来をじっくり考えるよい機会でもあります。

現在、就職状況は景気も反映し、大学院、学部ともにほぼ100%です。このような状況だからこそ、学生には、実力を付け、世の中をよく見て自ら考え、自分に合った分野で、大いに活躍して頂きたいと思っております。

今後とも、皆様のご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



機械システム工学科



2017年4月に新学科の新入生を迎えてから丸2年が経過しました。新学科では社会の要望に応えるための新しい科目が立ち上がっています。2年後期で取り組む代表的な科目にエンジニアリング創成IというPBL科目があります。学生たちは6週間づつ2つの研究室を回り、工学に基づいたものづくりを経験します。今年度は3年後期のエンジニアリング創成IIとして、仮配属された研究室で半年間、創造的な活動に取り組みます。こちらは旧学科でも実施しており、座学で学んだことを実際の機械システムに応用するプロジェクトをチームとして経験します。彼らが創ったシステムのいくつかは学内の学生ロボティクス・メカトロニクスコンテストなどにも応募され、その成果を競っています。休日にも研

教育プログラム長 教授 妻木 勇一

究室に来て取り組む彼らを見ていると良い刺激になっていると感じます。

さて、機械システム工学科には友誼会というOB会があります。下の写真は、関東地区の企業見学の際に開いて頂いた学生歓迎会の一コマです。100年以上の歴史を持つ本学科は、多くのOBからも支えられています。卒業生が自信と誇りを持って社会で活躍できるよう、我々教員も、引き続き鋭意努力し続けますので、保護者の皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。



友誼会(機械OB会)による学生歓迎会(メルパルク東京にて)

建築・デザイン学科

教育プログラム長 教授 永井康雄



平成29年4月に新学科がスタートし、2年生と1年生が新カリキュラムで学んでいます。建築に関する基礎的な講義の他に本学科の特色の一つである地域の風土に根差した建築を追求し、地域発展に貢献できる人材を育成するためのカリキュラムも始まりました。2年生を対象とする「地域デザイ

ン演習」では金山町での壁画制作や酒田市での“ポップアップGER 僕らは街を遊牧する”などの活動を通して地域との関わり方や表現方法について学びました。また、1年生は11月に会津地方への学外研修を実施しました。重要伝統的建造物群保存地区(喜多方市小田付、下郷町大内宿、南会津町前沢)などを実見し、地域性やその土地の歴史・文化に触れてきました。



金山町での壁画制作



酒田市での“ポップアップGER”



学外研修(下郷町大内宿)

応用生命システム工学科

教育プログラム長 教授 湯浅哲也

AIや機械学習ということばを新聞やニュースで見聞きしない日はない今日この頃ですが、生命・生活・健康の質の維持・向上を支援するためのヘルス

ケア産業では、これらの有望な応用領域として注目されています。また、いよいよ臨床治療に入った再生医療や科学的知見に基づく治療薬の開発など、生命現象自体をマニピレートする技術の発展も目を瞠るものがあります。本学科では、



これらの今後有望な分野に人材を輩出することを使命として、研究教育活動に従事してきました。

近年の好景気を反映して、本年度も当該学科の就職状況はきわめて良好に推移しております。本学科の特性上、これまでは医療機器・電機関連の製造業や情報関連企業への就職が多かったですが、自動車・工作機械関連の製造業への就職先が増加しつつあります。このような生命とは関わりのなさそうな業種からの引合いは、それぞれの企業が、自動車・産業ロボットなどを知能システムとして捉え、AIを積極的に適用する対象としているという事実に基づくものと理解されます。今後も様々な業種でこのような動きが加速されてゆくものと予想しています。



システム創成工学科



夜間のBコースがフレックスコースに改組されてから、平成30年4月にはシステム創成工学科の9期生を迎えることができました。本学科は「みらいを創る、モノづくり ヒトづくり」をキャッチフレーズに1年生から米沢キャンパスに通学する強

みを最大限活かした教育を行っています。例えば、1年次から機械工学の基礎を学ぶだけでなく、パテントコンテストによる特許教育や企業経営を理解するビジネス演習、さらには米沢の伝統を学び、県内の企業訪問を行うなど、工学の基礎教育と共に、社会人基礎力の養成にも力を注いでおります。また、数年間企業で働いた方が勤めながら工学部で専門教育を受けることができる体制も整えています。積極的な学生に対しては「チャレンジコース」で、テーマに沿って考えながら行う探究型PBLを実践でき、

教育プログラム長 教授 木 俣 光 正

2年次以降のPBL I、IIでは、LEGOロボットを用いた創造性PBLを体験することもできます。

今年度、本学科は大学院進学率45%、就職率は100%です。今後とも皆様方の温かいご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。



そば打ち体験



30年度システム創成工学科

学生相談室について

学生相談室は、皆さんがよりよい学生生活を送るためにサポートしています。皆さんの授業、生活、進路、心や体、友達との付き合い、先生との関係、日常の生活を送る上でのトラブル、ハラスメント、等々心配なことがあれば、いつでも相談に来てください。

問合せ方法・申込窓口

工学部保健管理室 TEL.0238-26-3034

平日：8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始を除きます。）

E-mail：sodan@yz.yamagata-u.ac.jp

※メールには、学生氏名と学生番号を必ずご記入ください。

担当：曾根 恵子（看護師）



平成30年度卒業・修了予定者の就職内定・進学予定先一覧

1. 工学部

(平成31年1月末現在)

コース	学科	就職内定先・進学予定先	(順不同)
昼 間 ・ A コ ー ス	機能高分子工学科	アイテック、アトス、穴吹工務店、アーネストワン、宇都宮市役所、NECエンベデッドプロダクツ、MCフードスペシャリティーズ、キヤノントッキ、群馬県庁、サントリービバレッジサービス、スズキ、住化加工紙、住友化学、東邦システムサイエンス、日興証券、日産オートモーティブテクノロジー、日新製薬、日本クロージャー、日本精機、日本パリソン、福島キヤノン、北陸ガス、山形県庁、山形ニフコ、ユナイテッド、横浜油脂工業、山形大学大学院(79名)、岐阜大学大学院、電気通信大学大学院、東京大学大学院	
	物質化学工学科	大和製罐(3名)、会津若松ザベリオ学園高等学校、アウトソーシングテクノロジー、アサカ理研、足利銀行、アリオンテック、イリソ電子工業、エフピコ、酒井重工業、三甲、七十七銀行、白河オリンパス、新興プランテック、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、大陽日酸エンジニアリング、高砂熱学工業、恒和薬品、東芝マテリアル、日研トータルソーシング、日新製薬、日東ベスト、日本ライフライン、プラス・テック、ベックマン・コールター、三星化学工業、宮城県労働局、山形市役所、横浜税関、米沢中央高等学校、産業分析センター、トーキン、フジキン、メイトックフィルターズ、山形大学大学院(36名)、東北大学大学院(5名)	
	バイオ工学科	東北インフォメーションシステムズ(2名)、AGCエレクトロニクス、DIC、石屋製菓、笠原工業、水質保全協会、タキロンシアアイ、デジタルアドバタイジングコンソーシアム、東一川崎中央青果、東芝ソリューション販売、ニプロファーマ、日本メナード化粧品、函館市役所、朋和産業、三木プーリ、宮城製粉、ユナイテッド、レンゴー、エースジャパン、システムロード、ソフトクリエイトホールディングス、山形大学大学院(29名)、東北大学大学院(4名)、岩手大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学	
	応用生命システム工学科	JRCエンジニアリング、NOK、愛知労働局、アドソル日進、いわき市役所、ウチダエスコ、エヌ・デーソフトウェア、国際自動車、国土交通省中部地方整備局、スジャータめいらく、デンソーテクノ、東芝システムテクノロジー、ニプロ医工、ハイメカ、パナソニックシステムソリューションズジャパン、富士紡ホールディングス、NTTデータアイ、OKIソフトウェア、アイヴィス、アウトソーシング、カルラ、システムコンサルタント、ジャスティック、ソフトクリエイトホールディングス、日立国際電気、日立ビルシステム、マーチャングデザイン・オン、メディカルシステム研究所、ラボテック・ソリューションズ、山形大学大学院(22名)、慶応義塾大学大学院	
	情報科学科	ソフトクリエイトホールディングス(3名)、ソリトンシステムズ(3名)、インテック(2名)、エヌ・デーソフトウェア(2名)、AGCディスプレイグラス米沢、アイシン・コムクルーズ、アルパイン情報システム、岩手県警察、釧路信用金庫、中部東芝エンジニアリング、東北インフォメーション・システムズ、日研トータルソーシング、リコーロジスティクス、DNPデジタルソリューションズ、NYK Business Systems、SJC、アイコール、アウトソーシングテクノロジー、インテリジェントテクノロジー、シグマトロン、システム計画研究所、ソガミ、データシステム米沢、トラスト・テック、トラスト・ネクストソリューションズ、ニューメディア、ワールドインテック、山形共和電業、日立ソリューションズ東日本、日立ハイシステム21、日立情報通信エンジニアリング、三菱電機エンジニアリング、松田産業、新日鉄住金ソリューションズ、大陽日酸エンジニアリング、東杜シーテック、東北エプソン、東北バイオニア、東北電力、日経情報システム、山形大学大学院(31名)、東北大学大学院(2名)、北海道大学大学院	
	電気電子工学科	NECプラットフォームズ、秋田県庁、グローバル・ウェーハズ・ジャパン、ケービン、酒田市役所、スズキ、通研電気工業、東京計器、東光電気工事、東北バイオニア、東北発電工業、トヨタ自動車東日本、日星電気、日本工営、日立社会情報サービス、古河電気工業、三菱電機エンジニアリング、矢崎総業、山形カシオ、山形県庁、山九、山洋電機、荏原電算、かわでん、小森マシナリー、テクノプロデザイン、日放電子、モビテック、ヨコオ、山形大学大学院(37名)、東北大学大学院(2名)、茨城大学大学院、豊橋技術科学大学大学院、横浜国立大学大学院	
機械システム工学科	東北発電工業(2名)、THKインテックス(2名)、日産オートモーティブテクノロジー(2名)、パーソルR&D(2名)JUKI産機テクノロジー、NOK、曙ブレーキ工業、芦野工業、アリオンテック、アルプス電気、インターネットイニシアティブ、京セラコミュニケーションシステム、ジェイ・ワイテックス、ジヤトコ、シロキ工業、精英堂、デクセリアルズ、デンソーテクノ、東芝プラントシステム、東北電力、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、ナプテスコオートモーティブ、日東精工、日本データスキル、日本電産エレシス、日本電子、東日本旅客鉄道、富士紡ホールディングス、プラス・テック、三木プーリ、三菱自動車工業、三菱電機ビルテクノサービス、ミネベアミツミ、矢崎総業、山形カシオ、リコーインダストリー、SUBARU、エイ・ダブリュ・エンジニアリング、小森コーポレーション、小森マシナリー、スガサワ、タマディック、テクノプロ テクノプロ・デザイン社、ニフコ山形、パロマ、ピット、メイトック、彌満和製作所、リード、山形大学大学院(59名)、東北大学大学院(3名)、千葉大学大学院、筑波大学大学院		
フレックス創成工学科	青葉化成、アクト・セン、笠原工業、クロス・ヘッド、スズキハイテック、ソマール、トヨタ自動車東日本、ニッポー、パーソルR&D、富士フィルムイメージングプロテック、宮城県警察、山形カシオ、陸中造林、扇港電機、京三製作所、キリウ山形、シートクス、ソフトクリエイトホールディングス、デザインネットワーク、ネクスコエンジニアリング新潟、富士通ビー・エス・シー、武蔵エンジニアリング、山形大学大学院(17名)		

2. 大学院理工学研究科博士前期課程(工学系)

専攻	就職内定先・進学予定先	(順不同)
有機材料システム専攻	東京エレクトロン(3名)、トヨタ紡織(3名)、矢崎総業(3名)、NOK(2名)、デンカ(2名)、トヨタ自動車東日本(2名)、キヤノン(2名)、三井化学(2名)、EMデバイス、WBDエウレカ、YKK AP、アイカ工業、曙ブレーキ、旭ファイバーグラス、アルプス電気、アロ化成、出光興産、出光ユニテック、潮冷熱、エンプラス、カネカ、京セラ、キョーラク、クレラノリタケデンタル、グローバルエハースジャパン、原子燃料工業、ジヤトコ、ジャパンファインプロダクツ、信越ポリマー、住友電装、住友理工、千住金属工業、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、大日精化工業、デクセリアルズ、テルモ、東京応化工業、東芝メモリ、東北電力、東洋インキSCホールディングス、凸版印刷、トヨタ自動車、トリニティ工業、日油、日新製薬、日東電工、日本ケミコン、日本合成化学工業、浜松ホトニクス、富士通セミコンダクタ、マツダ、三菱ケミカル、山形カシオ、リンテック、JOLED、アルプス技研、金陽社、クボタケミックス、倉本産業、クラレ、シマノ、テクノプロ R&D社、ニフコ、ニューフレアテクノロジー、フジクラ、村田製作所、ユポ・コーポレーション、ワールドインテック、山形大学大学院(5名)	
物質化学工専攻	デクセリアルズ(3名)、アルプス電気(2名)、クアーズテック(2名)、大日精化工業(2名)、エルナー、サンノーバ、ジェイ・エム・エス、住友電気工業、大陽日酸、東京エレクトロンデバイス、東レエンジニアリング、凸版印刷、トヨタ自動車、日本曹達、日本電波工業、日本アチル、パナソニック、日立化成、日立金属、日立造船、藤倉化成、富士電機、三井金属鉱業、三菱ケミカル、山形カシオ、ユニバーサル製罐、横浜ゴム、吉野石膏、T&K TOKA、コマツ製作所、大昌電子、山形大学大学院(3名)	

バイオ化学工学専攻	日新製薬(2名)、高級アルコール工業(2名)、アイリスオーヤマ、エア・ウォーター、大内新興化学工業、川件ファインケミカル、関東化学、菊水酒造、クリエートメディック、グンゼ、信越化学工業、ディップソール、東邦化学工業、新潟県庁、ニプロ、長谷川香料、林テレンプ、保土谷化学工業、有機合成薬品工業、アルビオン、医学生物研究所、エースジャパン、クラレ、クラレ新潟事業所、クレハ、高研、電通クリエティブX、ニフコ山形、山形大学大学院、バーゼル大学大学院
応用生命システム工学専攻	テルモ(2名)、ASEジャパン、キャノン、テラテクノロジー、東北電力、トヨタ自動車東日本、ニプロ医工、三菱電機ビルテクノサービス、NTKセラテック、OKIソフトウェア、テクノプロR&D、パナソニックシステムネットワークス開発研究所、ブレインパッド、メイテック、日立ビルシステム、三井金属鉱業、東洋製罐、日本シグマックス、日本無線
情報科学専攻	ルネサスエレクトロニクス(2名)、ソフトクリエイティブホールディングス(2名)、NECディスプレイソリューションズ、SCSK、カトム、サクサ、三菱電機インフォメーションネットワーク、三菱電機、ローレルバンクマシン、アルプス技研、ジーシーシー、パナソニックシステムネットワークス開発研究所、大日本印刷、東レエンジニアリング、東北NSソリューションズ、東北インテリジェント通信、凸版印刷、日本プロセス、日本証券テクノロジー、日本端子、富士通、富士電機、総合研究大学院大学
電気電子工学専攻	パナソニック(3名)、日立アドバンスシステムズ(2名)、三菱電機エンジニアリング(2名)、ファナック(2名)、トヨタ自動車東日本(2名)、NECプラットフォームズ、曙ブレーキ工業、アルパイン、いすゞ自動車、経済産業省 東北経済産業局、ケービン、郡山ヒロセ電機、ジャトコ、白河オリンパス、信越化学工業、新電元工業、神明電機、セコム工業、ソニー、東京エレクトロン、東北電力、ニプロ、東日本旅客鉄道、日野自動車、三菱電機、ラピスセミコンダクタ、総合車両製作所、トプコン、村田製作所、東北緑化環境保全、山形大学大学院
機械システム工学専攻	セイコーエプソン(3名)、東北電力(2名)、NOK(2名)、日立化成(2名)、日立金属(2名)、富士電機(2名)、いすゞ自動車(2名)、カルソニックカンセイ(2名)、明電舎(2名)、JVCケンウッド、THK、秋田市役所、荏原製作所、カシオ計算機、ファイナンシャルブレインシステムズ、清水建設、ジャトコ、世紀、セントラル技研、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、大同特殊鋼、帝人、東北パイオニア、トヨタ自動車、日本航空電子、日本航空、日本精機、日本精工、日本製紙、日本電産、東日本旅客鉄道、日立建機、富士古河E&C、本田技研工業、マニー、三菱アルミニウム、三菱ケミカル、三菱重工環境・化学エンジニアリング、三菱電機、山形カシオ、ヤマザキマザック、SUBARU、アマダ、エスイーシー、加藤製作所、かわでん、小森コーポレーション、ジェイテクト、タンガロイ、チノー、東京精密、ナカニシ、牧野フライス、ヨコオ、ロック・オン、山形大学大学院(2名)
ものづくり技術経営学専攻	サンディスク

3. 大学院理工学研究科博士後期課程（工学系）

専攻	就職内定先・進学予定先	(順不同)
有機材料システム専攻	東ソー、Inuru GmbH、有職者(2名)	
物質化学工学専攻	三菱ケミカル、信越化学工業	
機械システム工学専攻	埼玉大学	
ものづくり技術経営学専攻	グリー	

平成29年度 卒業・修了者の就職状況

(平成30年4月16日現在・3月卒・修了者のみ)

学科・専攻別	工学部 昼間・Aコース								工学部 フレックスコース		大学院理工学研究科 博士前期課程										合計	
	機能高分子工学科	物質化学工学科	バイオ化学工学科	応用生命システム工学科	情報科学科	電気電子工学科	機械システム工学科	計	システム創成工学科	計	機能高分子工学専攻	有機材料システム専攻	物質化学工学専攻	バイオ化学工学専攻	応用生命システム工学専攻	情報科学専攻	電気電子工学専攻	機械システム工学専攻	技術経営学専攻	その他		計
卒業・修了予定者数	106(14)	74(16)	62(33)	59(15)	75(10)	67(1)	105(5)	548(94)	48(9)	48(9)	2(0)	71(8)	34(6)	34(15)	27(0)	21(1)	28(0)	54(0)	3(1)	274(31)	870(134)	
就職希望者数	20(6)	28(12)	25(16)	34(9)	49(6)	35(1)	43(4)	234(54)	27(2)	27(2)	2(0)	68(8)	33(6)	33(15)	26(0)	20(1)	27(0)	50(0)	3(1)	262(31)	523(87)	
自営希望者数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	(0)
進学希望者数	79(7)	42(3)	37(17)	25(6)	23(4)	31(0)	61(1)	298(38)	21(7)	21(7)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	7(0)	326(45)	
その他	7(1)	4(1)	0(0)	0(0)	3(0)	1(0)	0(0)	15(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	5(0)	20(2)	
就職内定者数	20(6)	28(12)	25(16)	34(9)	49(6)	35(1)	44(4)	235(54)	27(2)	27(2)	2(0)	68(8)	33(6)	33(15)	26(0)	20(1)	27(0)	50(0)	3(1)	262(31)	524(87)	
未内定者数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	(0)
内定率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
就職決定率(%)	74.1	87.5	100.0	100.0	94.2	97.2	100.0	94.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.3	95.2	100.0	94.3	100.0	98.1	96.3	

[注] () 内の数字は女子を示し内数である。就職内定率：就職内定者数÷(就職希望者数+自営希望者数)
就職決定率：就職内定者数÷(卒業・修了予定者数-進学希望者数)である。

キャリアサポートセンターだより



キャリアサポートセンター長 **黒田 充 紀**

(大学院理工学研究科 機械システム工学分野 教授)

工学部ではキャリアサポートセンターを中心に学生のキャリア形成への支援活動を展開しております。各学科・専攻の就職担当教員からなる就職連絡協議会を定期的に開催し、学部全体での情報共有を図っています。各学科・専攻においても、教員は学生との個別進路面談や、企業・産業界との情報交換を通して、就職支援に深くかつ積極的に関わっています。

平成30年度工学部卒業者の大学院進学率は55%と前年度と比べて増加傾向にあります(平成29年度は51%)。企業等への就職についても希望者は、昨年12月の時点でほぼ100%の内定率に達しました。大学院修了予定者の就職内定についてはさらに順調でした。

今年度も、3月1日から3日間にわたり米沢市営

体育館にて、大規模な合同企業説明会(山形大学・県立米沢栄養大学・県立米沢女子短期大学の共催)を開催いたします。今年度は、参加企業数が大幅に増えて、494社様(予定)の参加を頂きます。是非、学生の皆さんには、合同企業説明会を活用して頂きたいと思います。昨年度のデータを見ますと、学部・大学院の就職者の半数以上が、合同企業説明会参加企業に就職しています。

産業構造の変化に伴って、企業の構成も仕事の形態も変わっていきます。学生の皆さんには、自分の専門的強みを活かしてどのように社会に貢献するのか、何処でどのような生き方をするのか、人生の中での仕事の位置付けやあり方はどうか等について、真剣に考えて頂きたいです。

教職員一丸となって全力で学生の就職活動をサポートして参ります。

就職活動と後輩へのアドバイス

応用生命システム工学専攻 2年 **永島 美希**

私の就職活動について簡単にお話させていただきます。私はM1の8月頃からインターンシップに参加していました。私は様々な業界に興味があり、志望する業界や職種などを明確にするために参加していました。就職活動解禁の3月からは合同企業説明会や会社ごとの説明会に参加し、志望する会社について情報収集を行いました。その後、



ESや履歴書の提出、複数回にわたる面接を経て内定をいただきました。

私から就職活動に対するアドバイスは3つあります。1つ目は、「志望する業界や職種を明確にする」です。私は志望する会社選びに時間がかかってしまい、就職活動へのスタートが遅れてしまいました。ゆえに、自分の志望する業界や職種が明らかになっていけば、効率的な会社選びができると思います。2つ目は、「スケジュールをしっかりと把握する」です。3月はESや履歴書の提出が重なり、時間に余裕がなくなりました。締め切り間近に書き上げることもありました。当たり前のことではありますが、スケジュール管理を徹底することで心に余裕のある就活ができると思います。最後は、「ありのままの自分をみせる」です。ESや面接で自分を良く見せることは大切です。しかし、良く見せようとするあまり、誇張しすぎるのはおすすめしません。出来るだけ素の自分をみせた方が面接では効果的だと思います。体調に気をつけてベストを尽くしてください!

山形大学工学部後援会会則

(名称及び事務所)

第1条 本会は、山形大学工学部後援会と称する。

第2条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- (1) 工学部学生の保護者並びに大学院理工学研究科(工学系)及び、大学院有機材料システム研究科学生の保護者
- (2) 工学部に勤務する教職員
- (3) 本会の趣旨に賛同する者

第3条 本会の事務所は、山形大学工学部に置く。

(目的及び事業)

第4条 本会は、工学部の教育及び運営に協力し、併せて学生、教職員の福利厚生
の向上を図るとともに、学生の課外活動を育成援助することを目的とする。

第5条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 学生の教育、課外活動及び就職斡旋に必要な助成
- (2) 学生及び教職員の福利厚生に必要な助成
- (3) その他、本会の目的達成に必要なこと。

(役員及び任務)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 理事
- (4) 監査
- (5) 幹事

第7条 役員の出選は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、会員の推挙による。
- (2) その他の役員は、会長が会員の中から委嘱する。

第8条 役員任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

第9条 役員任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
- (3) 理事は、本会の重要案件を審議する。
- (4) 監査は、本会の会計を監査する。
- (5) 幹事は、本会の会務を処理する。

第10条 本会に、顧問をおくことができる。

(会議)

第11条 本会に、審議決定機関として、理事会を置く。

2 理事会は、会長、副会長、理事及び監査を持って構成する。

3 理事会は、原則として年1回開くものとする。ただし、会長が必要と認めたと
きは、臨時に開くことができる。

4 会長は、理事会を招集し、その議長となる。

第12条 理事会は、次に掲げる事由を審議決定する。

- (1) 会務の報告
- (2) 事業計画に関すること。
- (3) 予算及び決算に関すること。
- (4) 会則の改正に関すること。
- (5) 会長の推挙に関すること。
- (6) その他理事会において必要と認められた事項

(会計)

第13条 本会の経費は、会費、寄付金その他の収入をもってあてるとし、保護
者の会費は、入学時または編入学時に全納するものとする。

2 納付した会費は、返還しないものとする。

3 会費の額は、別に定める。

第14条 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(準則)

第15条 本会に、次の帳簿を備える。

- (1) 会員名簿
- (2) 役員名簿
- (3) 会議録
- (4) 会計簿

第16条 本会の運営に必要な事項は、別に定めることができる。

附 則

1 この会則は、平成8年4月1日から施行する。

2 山形大学米沢教育振興会規則(昭和23年4月1日制定)及び山形大学米沢体育後
援会規則(昭和25年4月1日制定)は廃止する。

附 則

この会則は、平成12年5月29日から施行し、平成11年4月1日から適用する。

附 則

この会則は、平成16年6月29日から施行する。

附 則

1 この会則は、平成16年12月15日から施行する。

2 改正後の会費については、平成17年度入学生から適用する。

附 則

この会則は、平成17年12月6日から施行する。

附 則

この会則は、平成21年6月19日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この会則は、平成28年6月17日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

工学部後援会会費

山形大学工学部後援会会則第13条第3項の規定に基づき、会員が納入する会費は、
次のとおりと定める。

- (1) 学部学生の保護者 26,000円
- (2) 3年次編入学学部学生の保護者 13,000円
- (3) 大学院(博士前期課程)学生の保護者 13,000円
- (4) 大学院(博士後期課程)学生の保護者 19,500円
- (5) 本会の趣旨に賛同する者

平成29年度 一般会計収支決算書 及び 平成30年度 一般会計収支予算書

収入の部

(単位:円)

項 目	平成29年度			平成30年度 予算額
	予算額	収入済額	増減	
会 費	22,132,500	20,098,000	△ 2,034,500	22,620,000
繰 入 金		1,000,000	1,000,000	
雑 収 入	2,000	106	△ 1,894	2,000
繰 越 金	331,247	331,247	0	271,002
合 計	22,465,747	21,429,353	△ 1,036,394	22,893,002

支出の部

項 目	平成29年度			平成30年度 予算額
	予算額	支出済額	残 額	
1 学科厚生補導費	1,244,900	1,283,400	△ 38,500	1,308,900
学 部 学 生 指 導 補 助 費	540,000	579,200	△ 39,200	598,400
学 科 行 事 等 補 助 費	704,900	704,200	700	710,500
2 一般厚生補導費	3,564,500	4,203,835	△ 639,335	4,034,000
国際交流関係補助費	500,000	611,585	△ 111,585	600,000
T O E I C - I P テ ス ト 補 助 費	1,000,000	971,200	28,800	1,000,000
学務関係補助費	800,000	1,184,704	△ 384,704	1,000,000
保健管理関係補助費	30,000	17,894	12,106	30,000
理 容 部 運 営 補 助 費	300,000	483,412	△ 183,412	450,000
基 盤 教 育 事 業 後 援 費	934,500	935,040	△ 540	954,000
3 進路対策補助費	100,000	3,205	96,795	20,000
4 学生研究助成費	1,000,000	770,648	229,352	1,000,000
5 課外活動補助費	500,000	991,579	△ 491,579	800,000
6 一般体育設備等補助費	300,000	0	300,000	100,000
7 厚生施設等環境整備補助費	500,000	391,686	108,314	500,000
8 研修行事等関係補助費	150,000	140,000	10,000	150,000
9 学部渉外関係補助費	400,000	307,247	92,753	300,000
10 大学行事補助費	1,500,000	1,436,227	63,773	1,500,000
11 運 営 費	3,490,000	3,900,524	△ 410,524	3,415,000
会 報 費	900,000	1,176,230	△ 276,230	750,000
会 議 費	300,000	205,120	94,880	250,000
通 信 費	30,000	3,051	26,949	10,000
事 務 費	1,000,000	856,838	143,162	900,000
旅 費	150,000	0	150,000	100,000
地区別説明会費	1,000,000	1,558,961	△ 558,961	1,300,000
学 園 都 市 推 進 協 議 会 費	100,000	100,324	△ 324	100,000
雑 費	10,000	0	10,000	5,000
12 積 立 金	1,000,000	0	1,000,000	500,000
13 施設協力金	8,512,500	7,730,000	782,500	8,700,000
14 予 備 費	203,847	0	203,847	565,102
合 計	22,465,747	21,158,351	1,307,396	22,893,002

山形大学工学部保護者懇談会

今年度(平成30年度)実施報告と来年度(平成31年度)開催予定

保護者懇談会は、全国を3ブロックに分けて開催するようになってから、今年度で8年目となりました。進学・就職に関する講演や教員と個別に相談する時間も設けています。保護者同士の交流の場としても大変好評をいただいておりますので、ぜひこの機会にご参加くださいますようお願いいたします。

■今年度 実施報告

地域	開催日	開催会場	参加者数
関東・甲信越地区	9/9(日)	メルパルク東京(港区)	69名
北海道・東北地区	10/6(土)	工学部米沢キャンパス	191名
中部・西部地区	11/18(日)	KKRホテル名古屋(名古屋市)	57名



■来年度 開催予定

地域	開催予定日	開催予定会場
関東・甲信越地区	9/14(土)	メルパルク東京(港区)
北海道・東北地区	10/5(土)	工学部米沢キャンパス
中部・西部地区	11/10(日)	KKRホテル名古屋(名古屋市)



お知らせ

◎入学式のご案内

日 時：平成31年4月3日(水) 10時30分から
 式典会場：山形県体育館 山形市霞城町1-2 霞城公園内

◎各種相談の窓口

学務課学生支援担当 (☎0238-26-3017)

→授業料免除、奨学金、就職、インターンシップ、休・退学、留学、学生寮、サークル活動、健康相談、こころの悩み

学務課教育支援担当 (☎0238-26-3015)

→教務(授業・履修・成績)、教員免許、諸証明書の発行、転学部・転学科、科目等履修生、T A

学務課入試担当 (☎0238-26-3013)

→各種(学部・大学院)入学試験、編入学試験

平成31年度工学部年間予定表

前期(2019年4月1日～9月30日)

春季休業：4/1(月)～4/2(火)

入学式：4/3(水)

授業期間：4/8(月)～7/23(火)

定期試験・まとめ：7/24(水)～8/1(木)

補講期間：8/5(月)～8/7(水)

夏季休業：8/8(木)～9/30(月)

9月学位記授与式：9/25(火)

後期(2019年10月1日～2020年3月31日)

授業期間：10/1(火)～12/24(火) 定期試験・まとめ：1/29(水)～1/30(木)

10月入学式：10/1(火) 2/4(火)～2/6(木)

開学記念日：10/15(火) 2/10(月)、2/14(金)

冬季休業：12/25(水)～1/13(月) 補講期間：2/12(水)～2/13(木)

授業期間：1/14(火)～2/7(金) 2/17(月)～2/19(水)

(定期試験・まとめを除く) 春季休業：2/20(木)～3/31(火)

学位記授与式：3/20(金)

【後援会通信】

平成27年4月10日、工学部後援会ホームページを開設しました。保護者のみなさまが「必要としている情報」をお伝えすることを第一の目的として運営して参ります。ご意見・ご要望などございましたら、ぜひ後援会事務局へお寄せ下さい。

平成28年度より、保護者懇談会の開催案内は工学部後援会ホームページへ掲載し、参加お申し込みもホームページ内で受け付けております。みなさまのご参加を教職員一同お待ちしております。